

縁生ズ

およそ小誌のごとき本造りなど勝手気儘で難いことなどないと考えていたが、やはりそう簡単なものでもないようだ。なにより、とやかくの瑕疪を他人の目から隠さんがための労苦があり、その痕跡が表裏にでもなりはせぬかと気を揉み、さてそれが奏効したか否やなど、心もとなくて背筋が凍る。

とはいって、年に三、四回発行せんとの心算はまがりなりにも果たせたわけで、少しく安堵している次第。いかな雑誌でもそうであるらしいが、三号目はまさに正念場、ここを乗り切ればおのずから道は拓かれん、か。

ところで、これまで寄せられた読者諸兄の熱い励ましに感謝申し上げます。そのことだけでこもごもの煩いを拭い去るを得、本号の刊行がかなつたとの思いひとしお、力の漲るのを感じます。

さて、次号の製作は晚秋の予定。誌面の一新を画すべく、企画についてのアドバイス、各方面からの寄稿など、いつでもお待ち申しております。また、小誌の発行部数が僅かなためご迷惑をおかけしておりますが、いささかなりとも反故となるを避けるべく、名計あらばご伝授下さい。

直江屋主人

識語

*「地獄第七界に君臨する大王は地上に顯現し人体宇宙の中枢に大洪水を齎すであろうか（略称ヲネ）」創刊号一巻刊号全三号掲（昭和五十一年九月一昭和五十二年四月刊、価格五百円）執筆者 天沢退三郎／入沢康夫／金石穂／山口哲夫／稚子堀／青木はるみ／他 今回価格 三号掲 千五百円



*紙田彰第一詩集『流連遊び』

Ezume Game
(昭和四十九年十月刊、定価千三百円)

今回価格
一千三百円

左の二点を希望の方にお預けいたします。在庫僅少のため、申込順に発送いたします。

縁生ズ 第三号 * 昭和五十九年六月十日発行 * 定価 千五百円 * 編集発行人 紙田 彰 * 発行所 東京都江戸川区西葛西五丁八一七一九〇六 直江屋 * 振替 東京一四〇一五七 * 電話 ○三(六八六)五九一五 * 印刷所 共信印刷



(二点とも、送料は当方負担)